


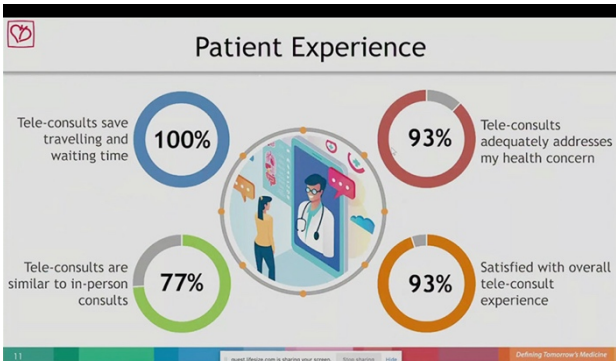




<p>【イベント名】 第14回 アジア遠隔医療シンポジウム -1 &amp; 2</p>	<p>【概要】 第14回 アジア遠隔医療シンポジウムは、コロナ禍における遠隔医療の有用性を証明することに成功した。このシンポジウムでは救急医療、地域医療、個人による健康管理、内視鏡、循環器内科、ホスピスケアや医療の法的規則などについて議論を行った。ハイブリッドで開催されたこの国際シンポジウムを通して、パンデミックと闘うための最新イノベーションについて互いに学び、共有し、享受することができた。</p>
<p>【期日】 2020.11.27</p>	
<p>【会場】 国立台湾大学（台湾）、埔里キリスト教病院（台湾）、九州大学病院（日本）、セントルークス医療センター医師自宅：マニラ（フィリピン）、サンカーラ・ネスララヤ病院（インド）、インドネシア大学（インドネシア）、ヤンゴン第一医科大学（ミャンマー）</p>	
	
<p>モニターに表示された接続施設。</p>	<p>コメントする医師（中央）。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>コメントする医師。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>